

# 前高特だより (第3号)

令和3年7月2日発行



暑さも日に日に増して、マスク着用で迎える2回目の夏がスタートしてしまいました。学校では、エアコンを上手に使いつつ、健康に気をつけて1学期のまとめに向けてみんなで乗り切っていけたらと頑張っています。

さて、今回は、「個別の指導計画」についてご案内します。



「個別の指導計画」って、このあいだの「個別の教育支援計画」とどう違うの？

似たような名前がよく分かりません。



前号でも紹介した群馬県教育委員会のホームページの「一人一人に合った個別の計画」という意味では一緒ですね！

群馬県教育委員会ホームページより引用

「個別の教育支援計画」は学校だけでなく福祉、進路先、医療などがチームになって作成しますが、「個別の指導計画」は学校が作成します。

普段の学習の長期と短期の目標を設定し、生徒を「どんな指導・支援」で育てていくか？その結果、どうだったのか、評価をして、次はさらに「こんな指導・支援」ではどうだろうか？と試行錯誤しながら、長期と短期の目標に向けて、取り組んでいく「指導計画」なのです！



ちょっと文が多くて、読み応えがあるけど、我が子の様子が詳しく書かれているんだな～

気になることがあれば、質問してもいいのですか？学校が作っているものだから、保護者は質問したり、意見を言ったりしないほうがいいのかな？

そんなことはありません！読んでいただいて、「あれ？この目標だと、うちの子には低すぎるのでは？」「自立活動の内容は、〇〇〇のことについて頑張らせたい！」など質問やご意見はどんどん担任の先生に言ってもらって大丈夫です。

それをもとに、さらに学校側で検討して、より良い「個別の指導計画」ができていくようにします。

学校からのおたよりは、とかく文章が多かったり、小さい文字がびっしりだったり、読みにくいものもあるかもしれません。なるべく見やすいようには工夫していますので、ぜひ、この機会に「個別の指導計画」をじっくり読んでいただくと幸いです。

